



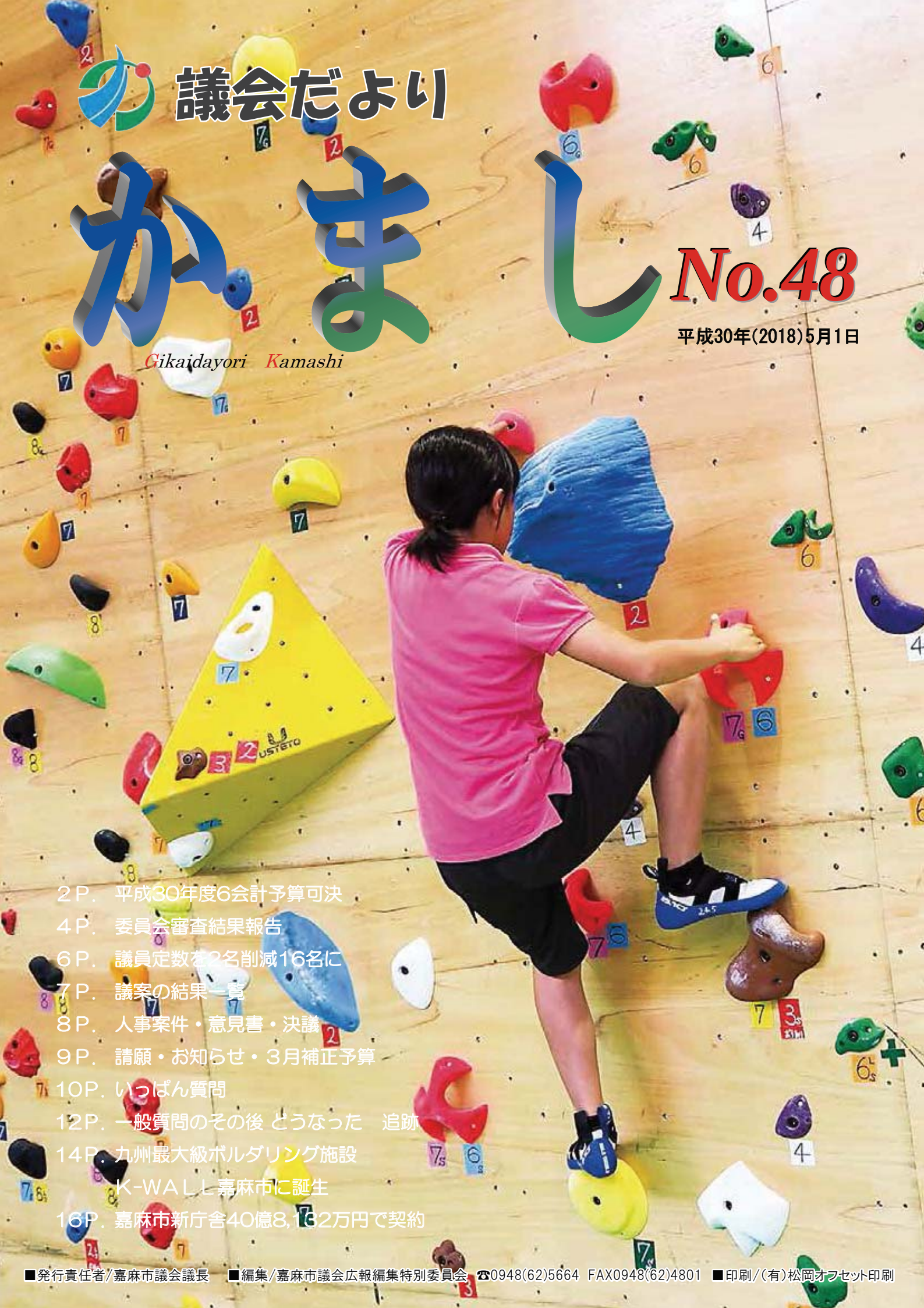
議会だより

かまし

No.48

平成30年(2018)5月1日

Gikaidayori Kamashi

- 
- 2P. 平成30年度6会計予算可決
4P. 委員会審査結果報告
6P. 議員定数を2名削減16名に
7P. 議案の結果一覧
8P. 人事案件・意見書・決議
9P. 請願・お知らせ・3月補正予算
10P. いっぱん質問
12P. 一般質問のその後 どうなった 追跡
14P. 九州最大級ボルダリング施設
K-WALL 嘉麻市に誕生
16P. 嘉麻市新庁舎40億8,132万円で契約

平成

30年度

6会計予算を可決

総額389億7,825万円

(前年度比1億7,772万円増)

※千円以下を切り捨てています。

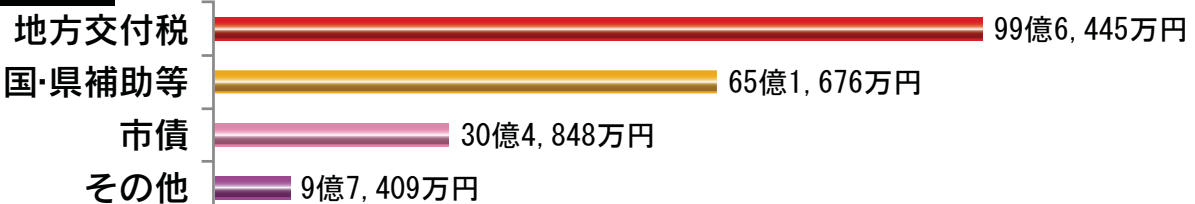
一般会計

254億8,860万円

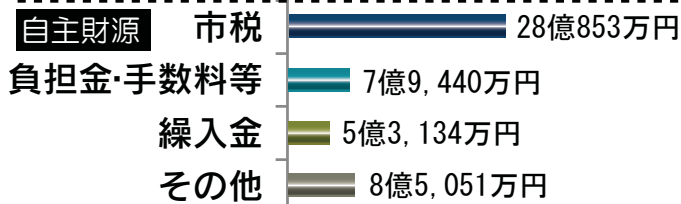
(前年度比8億8,668万円増)

【歳入】

依存財源



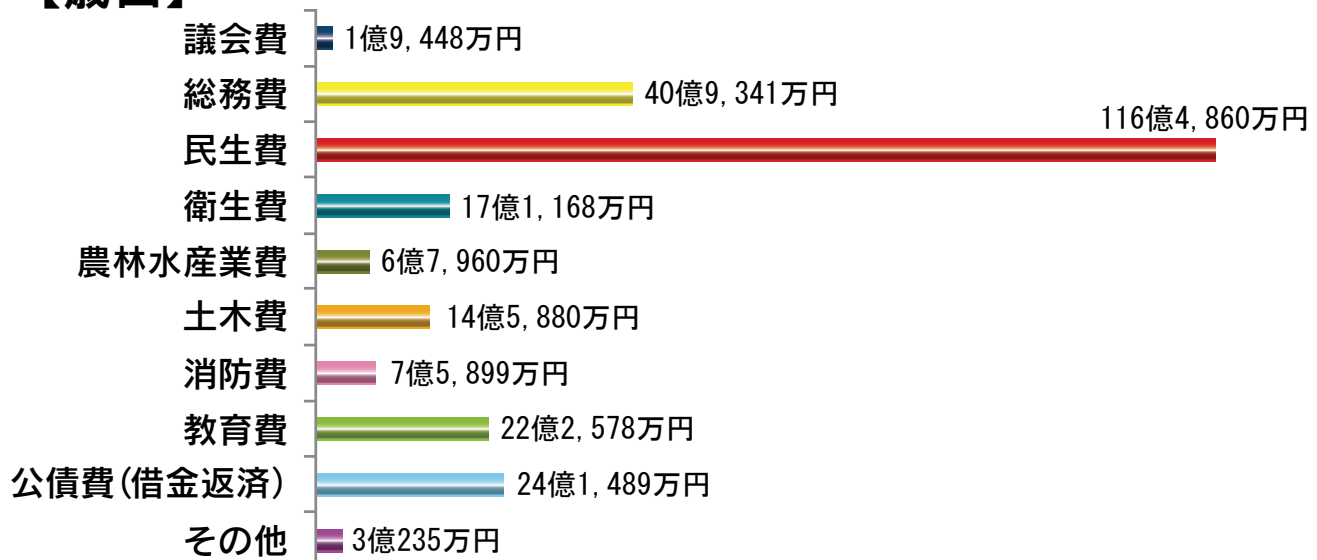
自主財源



依存財源(他に頼った収入)…………… 205億380万円(80.4%)

自主財源(本市独自の収入)…………… 49億8,480万円(19.6%)

【歳出】



義務的経費(人件費など最低限必要な経費)…………… 136億2,583万円(53.5%)

投資的経費(事業費など投資する経費)…………… 30億8,162万円(12.1%)

その他(施設の維持管理などの経費)…………… 87億8,114万円(34.4%)



国民健康保険特別会計

49億6,254万円
(前年度比18億2,828万円減)

後期高齢者医療特別会計

6億1,883万円
(前年度比 454万円減)



介護保険特別会計

54億277万円
(前年度比 6,822万円減)



住宅新築資金等貸付特別会計

4,854万円
(前年度比 293万円減)



水道事業会計

24億5,695万円
収益的收入7億145万円
資本的支出17億5,550万円
(前年度比11億8,916万円増)

大型二種免許取得補助金
267万円



新庁舎建設事業(継続費)
17億1,102万円



足白ボルダリングセンター指定管理料
1,828万円



一般会計予算の主な事業

委員会 審査結果報告



定例会中に開催された委員会の
審査や活動を報告します。

(各委員会に付託された議案の審査結果は7ページ)



田中委員長



中嶋副委員長



田中委員



永水委員



中村委員



山倉委員

総務財政委員会

定住自立圏形成協定締結 平成30年10月連携開始

定住自立圏の形成に
関する協定を締結

本案は、飯塚市との間において定住自立圏形成協定を締結するため、議会の議決事件を定める条例に基づき提案されたものです。

執行部より、定住自立圏の形成に関する協定書には、定住自立圏構想推進要綱に基づき、第1条「目的」から第7条「疑義の解決」までを定め、第3条の「連携する政策分野等」においては3つの政策視点を掲げ、取組事項、取組内容及びそれぞれの取組組みにおける飯塚市及び嘉麻市の役割を定めている。

作業部会を設置し、定住自立圏共生ビジョンに明記される具体的な連携事業について協議を行う予定であるとの説明がありました。

委員より、この協定は飯塚市と締結するものだが、連携事業(案)では桂川町も含めた2市1町で取り組んでいる既存事業もある。その場合の負担割合はどのようなのかとの質問に対し、これまでも2市1町で協議を進めているところであり、今後どのように経費負担の割合を定めていくかが非常に重要なことであるとの回答がありました。

審査の結果、全会一致で可決しました。

※本会議では、賛成多数で可決されました。

30年10月からの連携開始に向け、所管ごとに



岩永委員長



藤副委員長



中嶋委員



新井委員

民生文教委員会

稲築山野第一集会所新築移転

嘉麻市同和対策施設
条例の一部を改正す
る条例

本案は、稲築山野第一集会所の新築移転に伴い、条例に所要の改正を行うため提案されたものです。

執行部より、集会所改修のための現地調査を行ったところ、隣接する山を含め集会所の設置場所が土砂災害特別警戒区域に指定されていたため、地元との協議の結果、設置場所を移転することとなり、住所地番の条例変更を行うものであるとの説明がありました。

委員より、高齢化が進む中、新たに集会所を建設し、運営管理することが将来的に負担になるのではとの質問に対し、山野第一集会所については、次の世代に残していきたいという地元の方の強い要

望から、新たに建設することとなった。今後、改修の対象となる集会所が10箇所程度あるため、維持管理や必要性を地元の方と協議しながら進めていきたいとの回答がありました。

また、同和対策施設という意味で歴史的な経過があるにしても、行政が、この地区は旧同和地区であると示すべきではないという意見もありました。

審査の結果、賛成多数で可決しました。
※本会議では、賛成多数で可決されました。



山野第一集会所

産業建設委員会



北富委員長



田上副委員長



廣方委員



出水委員



坂口委員

嘉麻市営住宅条例の
一部を改正する条例

本案は、老朽化した市営住宅等の用途廃止により、住宅等戸数に変更が生じたことから、条例に所要の改正を行うため提案されたものです。

執行部より、今回は昭和39年度から昭和48年度に建設された山田地区

百々谷団地1戸
北西川団地1戸
あさひが丘団地4戸
にじが丘団地3戸
稲築地区
大坪団地2戸
鴨生北町団地6戸
碓井地区
小太郎団地1戸
熊本団地1戸
愛宕団地2戸
井ノ浦団地2戸
嘉穂地区
寺の前団地1戸
中益団地7戸

合計12団地31戸及び山田ゆうひが丘団地において地元より利用していないとの申し出があった第4集会所1戸の用途廃止を行うものであるとの説明がありました。

委員より、他市では学生への市営住宅提供事業や、移住定住を希望される方にお試し住宅として貸出す事業を行っているが、嘉麻市でも目的外使用の範囲を広げることは出来ないのかとの質問に対し、火災などの緊急時に、住居が必要になったときに短期間だけ入居させることを目的外使用で対応している。今後他市の事例を調査したいとの回答がありました。

審査の結果、全会一致で可決しました。
※本会議では、全会一致で可決されました。

議員定数を2名削減 16名に!



嘉麻市議会の議員の 定数を定める条例の 一部を改正

3月定例会中に、議会改革に関する調査特別委員会に審査付託となった「嘉麻市議会議員定数に関する請願書」は本会議において、賛成多数で採択されました。また最終日に議員12名の連名により、次回の一般選挙から嘉麻市議会の議員の定数を「18名」から2名削減し「16名」とする議案が提案され、賛成多数で可決しました。

議員の意見抜粋

賛成

- ・議員定数の削減が多様な民意をくみ取ることとを難しくするものではなく、議員としての資質と努力の問題である。
- ・この3年間16名の議員数で運営しているが、議会運営に支障をきたしたり、議会が停

滞した事実はない。

反対

- ・議員定数の削減は民意が反映されにくくなる。

- ・2名削減したところで財政的な効果はそれほど多くない。

類似団体の状況

県内の人口規模が同等（3〜4万人）の自治体の状況

みやま市	17名
大川市	17名
うきは市	15名

※一般選挙とは…

地方公共団体の議会の議員の定数全員について行う選挙のことをいいます。

一般選挙は、議員の任期満了、議会の解散、市町村の設置などによって議員が全ていない場合に行われるもので、議員に欠員が出た際の補欠選挙は含まれません。

議案の結果一覧(3月定例会)

○…全会一致
△…賛成多数
※…討論あり

各委員会で審査された議案を本会議で採決した結果

総務財政委員会	
議案第2号 専決処分事項の承認（損害賠償の額を定めることについて）	○承認
〃 第5号 嘉麻市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の所要の改正	○可決
〃 第16号 消防団員等公務災害補償条例の所要の改正	※△可決
〃 第21号 過疎地域自立促進計画の変更	※△可決
〃 第22号 定住自立圏の形成に関する協定の締結	※△可決
〃 第23号 福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更	○可決
民生文教委員会	
議案第1号 専決処分事項の承認（交通事故に係る損害賠償の額を定めることについて）	○承認
〃 第4号 指定居宅介護支援事業に係る事業者の指定基準並びに人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定	○可決
〃 第6号 手数料条例の所要の改正	○可決
〃 第7号 市立保育所条例の一部を改正する条例の所要の改正	○可決
〃 第8号 後期高齢者医療に関する条例の所要の改正	○可決
〃 第9号 同和対策施設条例の所要の改正	△可決
〃 第10号 国民健康保険条例の所要の改正	○可決
〃 第11号 介護保険条例の所要の改正	○可決
〃 第12号 地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準等を定める条例等の所要の改正	○可決
〃 第13号 指定介護予防支援の事業に係る事業者の指定基準並びに人員及び運営に関する基準等を定める条例の所要の改正	○可決
産業建設委員会	
議案第14号 市営住宅条例の所要の改正	○可決
〃 第15号 都市公園条例の所要の改正	○可決
予算特別委員会	
議案第3号 専決処分事項の承認（平成29年度一般会計補正予算（第10号））	○承認
〃 第24号 平成29年度一般会計補正予算（第11号）	※△可決
〃 第25号 平成29年度一般会計補正予算（第12号）	○可決
〃 第26号 平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）	○可決
〃 第27号 平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	○可決
〃 第28号 平成29年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第3号）	○可決
〃 第29号 平成29年度介護保険事業特別会計補正予算（第5号）	○可決
〃 第30号 平成29年度水道事業会計補正予算（第4号）	○可決
〃 第31号 平成30年度一般会計予算	※△可決
〃 第32号 平成30年度国民健康保険事業特別会計予算	※△可決
〃 第33号 平成30年度後期高齢者医療特別会計予算	○可決
〃 第34号 平成30年度住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	○可決
〃 第35号 平成30年度介護保険事業特別会計予算	○可決
〃 第36号 平成30年度水道事業会計予算	○可決
議会改革に関する調査特別委員会	
請願第1号 議員定数に関する請願書	※△採択
その他	
議案第37号 平成29年度一般会計補正予算（第13号）	○可決
委員会提出 議案第1号 政治倫理条例の所要の改正	○可決
議員提出 議案第1号 議会の議員の定数を定める条例の所要の改正	※△可決

人事案件

固定資産評価審査委員の任期満了に伴い、引き続き次の方を選任することについて全会一致で同意しました。

石川 穎子 氏

永富 健二 氏
山田 廣志 氏
松田 廣子 氏

人権擁護委員の任期満了に伴い、新たに次の方を推薦することについて全会一致で同意しました。

高熊 百合香 氏

意見書

家族介護はもう限界です！障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書

何らかの社会的支援がなければ生きていけない障害児者は年々増加しており、居宅サービスはもちろん、社会資源の絶対的不足が慢性化している。障害児者が「暮らしの場」を選択できるよう、グループホームや入所施設・通所施設などの社会資源を拡充し、福祉人材を確保すること、入所機能を備えた地域生活支援拠点を国の責任で整備すること及び障害者関係予算を大幅に増額し、施策の重要な担い手になっている地方公共団体を財政的に支援することを国に要望するものです。

(全会一致・可決)

決 議

西鉄バス碓井・大分坑線廃止計画に反対し継続を求める決議

今回の廃止計画が実施された場合、市民生活に重大な事態を招くとともに本市のまちづくりに深刻な障害をもたらすことは明らかであるため、西鉄バス碓井・大分坑線廃止計画に強く反対し継続を求めるものです。

(全会一致・可決)

請 願

インフルエンザワクチン接種の非課税世帯・生活保護世帯に対する助成を求める請願書

インフルエンザのワクチン接種代金の補助は現在も実施されているが、非課税世帯・生活保護世帯は無料でワクチンを接種できるよう補助の拡大・充実に要望するものです。
(賛成少数・不採択)
※討論あり
※本請願は12月議会において継続審査となっていたものです。

お知らせ

補欠選挙で3名の議員が当選されました

嘉麻市議会議員3名が欠員となっていたことに伴い、去る4月15日に実施された補欠選挙において、次の3名が当選されました。



廣瀬公彦議員（51歳）
住所：熊ヶ畑1049番地11



石原浩二議員（57歳）
住所：上山田701番地3



新井聖次議員（42歳）
住所：上山田1065番地7

3月補正予算

一般会計 5,249万円減
総額 255億6,180万円

国民健康保険特別会計 6,821万円減
総額 72億9,623万円

後期高齢者医療特別会計 903万円減
総額 6億1,793万円

介護保険特別会計 1億5,752万円減
総額 55億3,266万円

住宅新築資金特別会計 644万円減
総額 3,946万円

水道事業会計 81万円減
収益的支出 6億9,809万円
資本的支出 5億6,231万円

6会計総額 403億849万円

一般会計補正の主なもの

（歳入）

小学校施設整備事業債 1億70万円
県議会議員補欠選挙委託金 1,929万円
中山間地域等直接支払事業費補助金 3,755万円

（歳出）

熊ヶ畑小学校大規模改造事業 1億3,399万円
県議会議員選挙費 1,929万円
飯塚急患センター運営費負担金 141万円

※千円以下を切り捨てています。



熊ヶ畑小学校

いっぱん質問

行政の考えを問う



新井 高雄 議員

住民と力を合わせ
「碓井・大分坑線」存続を……………11P

田中 義幸 議員

公共施設の更新費用は
どうなる……………11P

今回の一般質問は、3月7日に行なわれました。

4月に市長選挙が予定されていたため、今定例会の条例・予算等は必要最少限の提案となっています。
議会としては、市長選挙後の新市長に詳細な質問を行うこととし、今定例会で質さなければならない
事項のみ一般質問を行いました。

田中 義幸 議員



問 公共施設の更新費用は
どうなる

答 現状維持すれば
年間41億円かかる

企画財政課長 現状を
質 公共施設の更新費
用はどうなる。
大村企画財政課長 体
育館、野球場、市営住
宅など全国自治体と比
較し非常に多い。普通
交付税の縮減や人口減
少で市の財政は厳しく
なる。

質 総括は政治を行う
者の務めだ。あえて質
問をさせてもらう。公
共施設の設置状況と財
政状況を問う。

企画財政課長 8億5
千万円を計上している。
質 41億円必要なのに8
億5千万円だ。公共施設
見直しの財政効果はどう
なる。
企画財政課長 20年間
で約279億円、単年度
ベースで約13億円の財

維持すれば40年間で約
1661億円、年間約41
億円かかる。
質 平成33年以降投資
的費用(更新・改修費用)
はどうなる。

政効果だ。
質 41億円には程遠い
が残りはどうする。
企画財政課長 全ての
公共施設の見直しが必
要になる。
庁舎建設の総括
意見 以上の議論から
すると嘉麻市は基礎的自
治体として存続するか
疑問だ。交付税の縮減
や人口減で財政難とな
り、公共料金の高騰、住
民サービスは低下する。
住民はより暮らしやす

い都市部周辺へ流出し、
ますます過疎化へと向
かう。その結果、桂川町・
飯塚市との合併は避け
て通れない。とすれば、
新庁舎建設は利口な考
えではない。
質 市政運営について1
つだけ残念に思う。そ
れは庁舎建設の是非を
問う住民投票だ。署名
が規定数に達しなかった
が、市長が決断すれば
できた。投票の結果「庁
舎建設がいい」となれ



ば市民と行政が一体に
なっていた。
赤間市長 議会の議決
だ。議会の意思を尊重
しながら行政を行って
いる。
他に施政方針の総括
をおこなった。

新井 高雄 議員



問 住民と力を合わせ
「碓井・大分坑線」存続を

答 2市1町が連けいして
存続活動している

質 西鉄バス廃止計画
で、地元行政区長の方々
との話し合いをした。参
加者の意見は「廃止さ
れては困る」「まちがさ
びれる」「減らしてでも
残してもらいたい」だ。
1月29日、碓井行政区
長会が出した廃止反対

市長選挙のあるなし
にかかわらず、市民生
活で直面する課題、緊
急に解決しなければな
らない課題について質
問を行なう。

の要望書の取扱いは。
市の一方的な広報、
周知だけでなく、3月
27日に経過と存続案の
説明会を開く桂川町の
ように、市民の声や意
見を直接聞く考えはな
いか。
一方、市は西鉄バス
から1月25日「存続す
るにしても全便を残す
ことは困難」「運行回数
を減らさざるを得ない」
との回答を得たと
発表している。

同社の経営方針は、
自治体との連けいを深
め、交通ネットワーク
の維持拡充に努めると
うたっている。
常日頃、市は財政が
大変、予算がないと言っ
ているのに、同社に赤
字補てんをしてでも存
続活動しているという
が、まずなによりも同
社の経営方針による責任
を求める。

小林地域活性推進課長
存続は2市1町、連け
大変、予算がないと言っ
ているのに、同社に赤
字補てんをしてでも存
続活動しているという
が、まずなによりも同
社の経営方針による責任
を求める。

いして活動している。
要望書は、西鉄バスに
報告した。同社から複
数案の提示を受けてい
るが、路線案として定
まったものはない。

説明会は、3月から4
月におおむね方向性が
定まった中で検討する。
その他の質問
大隈地区産廃火災、熊
ヶ畑産廃拡張・埋立て、
新庁舎建設にみる市役
所のあり方。

説明会は、3月から4
月におおむね方向性が
定まった中で検討する。



旧臼井駅の発着場

どうなった!

その後を追います。



問

窓口業務の
民間委託は

答

平成29年10月より
住民票や所得証明などの
発行業務を委託している

- 質** 受託の経験は
- 業** 飯塚市で平成29年4月から窓口業務を請け負っている
- 質** 窓口の対応における情報共有は
- 業** 毎月1回、窓口で起こった事案等を担当課と協議している
- 質** 業務受託後のトラブルは
- 業** 大きなトラブルはない
- 質** 偽装請負防止のための対策は
- 業** 委託契約の範囲は、責任者の判断で処理している
- 質** 来庁者が何の証明書が必要なのかわからない場合の対応は
- 業** 「何に使うのか」「どこに提出するのか」、過去の事例を参考にしたり、また来庁者から提出先に確認してもらって必要な証明書を発行している
- 質** 社員が退職した後の個人情報保護は
- 業** 社員には入社時に機密保護の誓約書を提出させ、知り得た情報を退職後も外部に漏らしてはならないこととしている(違反した場合、個人情報保護法により罰則)

碓井庁舎の窓口業務を委託している福岡ソフトウェアセンターと市の担当にお話を伺いました



取材の様子



碓井庁舎の窓口の様子

- 質** 個人情報の保護に関する研修は
- 業** 年2回実施している
- 質** 窓口委託業務に関する課題は
- 市** 現在のところ大きな問題もなく進んでいるが、年度末などの繁忙期を経験していないので、1年を通して課題等をまとめながら、平成32年4月の新庁舎での実施に
- 質** つなげるよう考えている
- 質** 今後の窓口委託業務の拡大・縮小は
- 市** 縮小は考えていない。拡大する場合、委託する業務内容によっては、判断を伴う業務も多いため、組織全体での協議が必要

一般質問のその後

定例会で議員が出した一般質問がまちづくりにどう生かされているのか。

問

地域おこし協力隊
の受入れは

答

平成29年6月から
現在4名が活動中



千葉から

秋吉三鈴 隊員
(食・海外交流)



北九州から

森本祥予 隊員
(農業・狩猟)



大阪から

石丸智之 隊員
(嘉麻市のPR)



東京から

岡 芙美 隊員
(移住促進)

今回4名のうち2名の隊員 からお話を伺いました

森本隊員

「自然から頂く食の追求をしていたときに、嘉麻市の猟師さんに出会ったことがきっかけで嘉麻市を知り、自然そのものの美しさに、“本当に自分が探していた場所はここだ”と確信して、嘉麻市に住みたいと思いました。」と語る森本隊員。

「やりたいことは農と狩猟です。農に関しては土作りをして本当に栄養のあるものを育てたい。主婦の方でも少しの空いた時間に育てられるような農法を確立したい。子どもたちにも土作りの大切さを教える場所をつくりたい。狩猟は地元の猟師さんたちと解体場を建設し、嘉麻市を質のいいジビエ(狩猟で捕獲された野生鳥獣やその食肉)が食べられるところにしたい。狩猟体験など企画して、猟師の育成も行いたい。」と熱く語っていただきました。

※地域おこし協力隊は、
市外から移住された方が対象です。

石丸隊員

現在は、かまししちゃんを使って市のブランディングや婚活事業、移住を促す企画に携わられています。「嘉麻市は知名度が低いので、福岡県全域、ひいては全国に住みよい土地だと知ってもらうために色んなチャンネルを使って広めていきたい。」と考えているそうです。

「イベントディレクター(前職)の経験を活かして使っていない遊休施設や土地を再利用するようなことをもっと多く企画し、その中で企業を誘致したい。大企業を呼ぶ必要はなく、小さな企業もそれも全部企業誘致だと思っているので、今後重点的にやっていきたい。」と語る石丸隊員。



九州最大級のボルダリング施設

ケイ・ウォール

K-WALL

嘉麻市に誕生!

平成30年4月26日に
足白ボルダリングセンター
K-WALL がオープン
しました。

来年度にはレストラン・宿泊
施設もオープン予定です。

・ 営業時間

平日 10:00～22:00

土日祝 10:00～20:00

・ 定休日 毎週水曜日

・ 利用料金 2時間 **540円**

・ レンタル料シューズ **300円**

チョーク **100円**

・ シャワー利用料20分 **100円**

ケイ・ウォール **K-WALL**

気になったときが始めどき

へ行ってみよう!



安心して楽しめる子ども専用ウォール



上級者でも楽しめるビッグウォール



授乳室

小さなお子様連れでも安心の授乳室



休憩室

ゆっくりくつろげる休憩室



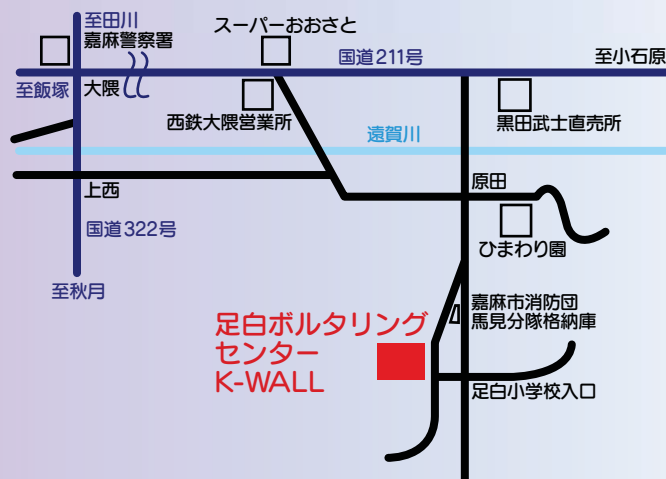
更衣室

シャワー完備の更衣室とロッカー



問い合わせ先
 足白ボルダリングセンター
K-WALL
 福岡県嘉麻市馬見587
 電話0948-43-4870

アクセスMAP



嘉麻市新庁舎建設

40億8,132万円で契約



南東側から望む庁舎外観イメージ



庁舎内西側（玄関側）から望む内観イメージ

臨時会が

開催されました

3月29日（木）に、平成30年第1回臨時会が開催されました。3月22日に嘉麻市新庁舎建設工事の条件付一般競争入札が行われた結果、40億8132万

円で落札されたので、市長より議会に提案され、賛成多数で可決しました。

嘉麻市新庁舎建設工事の総額は設計費、本体建築・浄化槽・外構費、施工監理費などを含めて、42億6178万円となっています。

入札の結果

入札には、3社が参加し、株式会社浅沼組九州支店が落札しました。

なお、嘉麻市は、入札前に予定価格と最低制限価格を公表しています。

財源の内訳は、合併特例債40億2230万円、一般財源2億3948万円で、合併特例債は交付税で戻りが見込まれますので、実質的な市の負担額は、14億4617万円となる予定です。（平成30年4月現在）

地鎮祭で

工事の無事を祈願

4月18日（水）に、新庁舎建設地（旧稲築高等学校跡）にて地鎮祭が行われました。

